

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年12月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機原子炉建屋補機冷却系ポンプ(A、C)本体ベント配管詰まりについて】 当社社員が、原子炉建屋補機冷却系水張りにおける原子炉建屋補機冷却系ポンプ(A、C)ベント操作時、通常よりベント水量が少ないことを確認。 原因は、ベント配管の詰まりと推定。 なお、当該ポンプについては、満水確認は出来ていることから、水張り・運転に影響なし。 今後、ベント配管を点検予定。</p>	GⅢ	11月26日
2	<p>【既設多核種除去設備(A)クロスフローフィルタ二次側流量調整弁の不具合について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に、既設多核種除去設備(A)の異常を示す警報の発生を確認。 調査の結果、クロスフローフィルタ二次側流量調整弁の不具合と推定。 今後、弁の本格点検を実施予定。</p>	GⅢ	11月29日
3	<p>【5号機 タービン補機冷却系熱交換器(A)出口管側ベント弁シート漏えいについて】 当社社員が、5号機 タービン補機冷却海水系ポンプ(A)起動後、タービン補機冷却系熱交換器(A)出口配管側に設置のベント弁より、微小のシート漏えいを確認。 シート漏えい量については微小であり、当該熱交換器(A)の機能には影響ないと判断。 応急処置としてベント配管に閉止を取り付ける予定。 今後、当該弁を点検予定。</p>	GⅢ	12月1日
4	<p>【5号機 タービン補機冷却系熱交換器(C)出口管側ベント弁シート漏えいについて】 当社社員が、5号機 タービン補機冷却海水系ポンプ(A)起動後、タービン補機冷却系熱交換器(C)出口配管側に設置のベント弁より、微小のシート漏えいを確認。 シート漏えい量については微小であり、当該熱交換器(C)の機能には影響ないと判断。 応急処置としてベント配管に閉止を取り付ける予定。 今後、当該弁の点検を予定。</p>	GⅢ	12月1日
5	<p>【5号機 硫酸第一鉄注入装置 攪拌タンク補給配管ピンホールについて】 当社社員が、5号機 硫酸第一鉄注入装置の起動前確認において、攪拌タンクの補給配管より水漏れを確認。 保温材を外し漏えい確認の結果、配管に2箇所ピンホールを確認。 上流側の弁を全閉とし、漏えい停止を確認。 硫酸第一鉄注入装置による酸化保護被膜の効果は約1ヶ月程度保持するため、その間に当該配管を交換予定。</p>	GⅢ	12月2日